

教科目名 生産システム特論 (Advanced Product System Engineering)

専攻名・学年 : 機械・環境システム工学専攻 2 年 (教育プログラム 第 4 学年 科目)

単位数など : 選択 2 単位 (後期 1 コマ, 学習保証時間 22.5 時間)

担当教員 : 福永圭悟

授業の概要			
安定した企業活動とは何か、企業経営への基礎、生産システム改善・発展の方法を学習する。 志の高い技術者は生産活動システムについて日々何を考え、行動しているかを学習する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (E2), JABEE 目標 (d2a)	
(1) 企業の生産システムを理解し、生産性向上に対する考え方を身につける。(定期試験と課題) (2) 企業、組織、生産活動を拡大・発展させる基礎的事項を修得する。(定期試験と課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	生産の意義 技術とは何か 生産システムと生産形態 品質管理, TPM, 工程能力, 3R マネジメント・システム 整数計画法	企業組織形態 目には見えない技術について本質を学ぶ。 受注生産, 見込み生産, 多種小量生産, カンバン方式, ライン生産, セル生産, などの特徴を理解する。 現有設備で可能なこと, 設備性能維持, 環境に優しいとは何か, を理解する。 企業経営の基礎を学ぶ 利益 Max を得る生産方法の考え方を学ぶ。	【理解の度合い】
8	後期中間試験		【試験の点数】 点
9 10 12 13 14	後期中間試験解答と解説 生産の価値システム 特許 特許 特許	自身の理解力を分析し, わからなかった部分を理解させる。 材料, 運搬, 人件費などから構成される製造原価計算方法を学ぶ。 企業存続を左右する特許について, 特許検索方法を修得する。 企業存続を左右する特許について, 明細書作成方法を修得する。 企業存続を左右する特許について, 明細書作成方法を修得する。	【理解の度合い】
15	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験解答と解説	自身の理解力を分析し, わからなかった部分を理解。	
履修上の注意	講義の途中でわからなくなったらすぐに質問してよいことにする。 自主的に学習すれば, 成長に限界はないことを認識すること。 各自の意見を尊重するが, 物事を批判的・建設的に考えること。		【総合達成度】
教科書	人見勝人、「生産システム工学」、共立出版		
参考図書	プリントなどの独自資料		
事前準備学習	新聞や TV などでの企業活動に注目しておくこと。		
関連科目	情報ネットワーク, プロジェクト実験, センサ工学		
総合評価	達成目標の(1)～(2)について, 定期試験成績 50%, 課題・レポート 50% により評価する。総合評価が 60 点以上を合格とする。		【総合評価】 点